

霧が丘六丁目 まちづくり推進ニュース

霧が丘六丁目まちづくり推進會

地域まちづくり組織（横浜市 認定番号 S16001）



自分たちではじめよう。
もっと住みやすいまちづくり。



霧が丘六丁目まちづくり推進ニュース Vol.18



星槎学園校長とまちづくり協議を行いました！ 「ぜひ、いっしょにまちづくりを進めましょう。」

2019年4月9日、霧が丘六丁目まちづくり推進會と星槎学園との初の協議を緑区役所で行いました。推進會は共同代表ら5名、星槎学園は校長先生を含む5名、横浜市都市整備局地域まちづくり課職員2名、横浜市財政局職員2名、緑区市政推進課職員2名、横浜市まちづくりコーディネータの吉田洋子さんが同席しました。

はじめに推進會から星槎学園の開校のお祝いをお伝えしました。その後、緑区が住民アンケートの結果を踏まえ、地域開放やまちづくりへの住民の期待が高いことから跡地利用事業者は教育機関が望ましいと緑区が横浜市財政局に提案した経緯を説明しました。そして、旧霧が丘第一小学校跡地を地域資源として残したいのあれば、横浜市地域まちづくり推進条例に基づくプランを制定するとよいだろうと、当時の緑区の担当課長から提案をいただき、その提案を踏まえて、ワークショップや説明会を重ねてプランづくりを進めたことをお伝えしました。あわせて、思い出まつりの開催、庭先カフェの開催、レモンのまちづくり、霧高チューリップ祭への参加などの活動実績もお伝えしました。

その上で、星槎学園にも地域の一員として「霧が丘六丁目地区 多世代が快適に暮らせる魅力をつくるまちづくりプラン」に基づいたまちづくりを一緒に推進していただきたいと提案したところ、校長先生から「ぜひ、いっしょにまちづくりを推進したい」とのお言葉をいただきました。

このやりとりを受けて、横浜市都市整備局地域まちづくり課、緑区市政推進課から、この連携を支援すると前向きな約束をいただき、和気あいあいの内に協議が終了しました。

地域開放についての具体的な内容については、教室の工事が完了していないため、時期を調整した上で検討の場を設けてくださるとのことです。今後、定期的な協議を重ねながら、具体的な内容を話し合っていきたいと推進會では考えています。いよいよ具体化する動きに関心をお持ちの方は、推進會の例会に一度参加されてはいかがでしょうか。事務局の佐東までお気軽にお声かけください。



旧霧が丘第一小学校跡地に移転した星槎中学校。校門脇には真新しいプレートが。



「みどりのまちづくり」今年度が最後のチャンスです！

植樹助成のお申し込みはお早めに。



横浜市環境創造局の支援制度「地域緑のまちづくり事業」に採択され、平成29年度からスタートした「観て、食べて、祭りで見どりを体感！ みどりで交流！」事業が、今年度で終了します。

霧が丘六丁目まちづくり推進会みどりアップ部会が中心になって実施した2年間の取り組みを通じて、庭植えと鉢植え併せて59本のレモンの木を霧が丘六丁目自治会地区に植栽することができました。街を歩いていて、「なんだか、街の空気が変わったね」と感じられたり、「あっ、ここにも新しいレモンの樹が！」と少しずつ緑

が増えていくのを楽しみにされていた方もいらっしゃるでしょう。これも住民の皆様のご理解と積極的なご協力の賜と、推進会一同感謝いたしております。

助成金を利用した植樹は今年度が最後の機会となりますので、レモンの木を植えてみたい方、また花壇をつくって緑を増やすことに貢献したい方は、ぜひお声かけ下さい。助成金の利用には外から見えるところに緑を植えないかならなければならないなどの条件がありますので、部会メンバーが訪問して丁寧に説明させていただきます。

「みどりのまちづくり」植樹助成を受けてみたい方は、「植樹希望」と書いた紙に氏名・住所・電話番号を記入し、代表の高橋宅まで投函してください（霧が丘六丁目17-4）。多くの参加をお待ちしています。

「みどりのまちづくり」でこんなにみどりが広がりました



多くの方のご協力で、こんなに緑が増えました。今年度も、ふるってお申し込みくださいね。



霧が丘六丁目まちづくり推進ニュース 発行：霧が丘六丁目まちづくり推進会
Vol.18[2019年6月号] 問合せ先：090-7945-0644（佐東）
<https://kirigaoka6choume.jimdo.com/>



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

11 住み続けられる
まちづくりを



国連持続可能な開発目標 SDGs 達成に向け取り組みます。